

# 第 98 回 青年会 総会 近づく

## 10/27 キッズパークやお話フェス、前夜祭も

第98回天理 青年会総会 は「おやさ と ふしん青年会 ひのきしん隊 結成70周年記念」と銘打つ て今年27日午 前10時に本部 中庭にて開催 される。

本愛分会で は、第98回総 会に伴い、大教会発着のマ イクロバスを運行するほ か、式典後に会食の場を設 けるなど、参加呼びかけを 続けている（バス利用と会 食の参加には事前申込が必 要）。

今年は昨年に引き続き総 会前日の午後1時からキッ ズパークが本部お茶所周辺 に設けられることから、青 年会員だけでなく家族ぐる みの参加も推奨されてお

立教187年の秋季大祭は10月26日、本 部にて執行される。翌27日午前10時に は、本部中庭にて、第98回天理教青年 会総会が開催される。

総会に関連して、前日午後1時から はさまざまな催しが行われる。本愛分 会（中島裕信委員長）では多くの会員 の参加を積極的呼びかけている。



発行  
天理教本愛大教会

〒453-0821  
名古屋市中村区大宮町1-60  
TEL (052) 461-4326  
MAIL mail@hon-ai.org  
〒632-0071  
奈良県天理市田井庄町19-1  
TEL (0743) 62-0378  
編集責任 広報部

年間活動目標  
今日を陽気に。  
つながる、  
つなげる。

名古屋まつりに出演しよう!

### こどもこてき隊 出演者大募集!

出演日 2024年10月20日(日)

こども食堂を利用されている お子様方にお知らせです!

毎年約200万人以上の入出がある名古屋まつりが今年も10月に開催されます。本愛分 会では、第1回目から続行の少年鼓笛隊に参加させていただいておりますが、 今年も記念すべき70回目となることから、この機会に皆さんにもぜひ出演していただ きたいです! 楽器は未経験でも構いません! 経験豊富なスタッフがフアイト ( 備前 ) などの楽器を無料でお貸し出しいたします。なお、中ラウンドでの演奏 費はご自身負担となります。募集は現在まで受け付けております。 ます! 名古屋まつりに出演できる貴重な機会となります。 応募お待ちしております!

参加資格 小学生・中学生  
練習場所 本愛大教会  
練習日 9月22日(日) 13:00-15:00  
10月6日(日) 13:00-15:00  
10月17日(木) 17:00-19:00

ご希望の方は下記メールアドレスに ご連絡いただくか、 練習日にお越しください! mail@hon-ai.org

QRコード

り、多様な弁士が登壇する お話フェスのほか、前夜祭 も催される（本愛分会の出 店はなし）。

なお、昨年に引き続き、 総会への参加受付はオンラ インとなるため、その他の 催しの内容を含め詳細は 「天理教青年会」のホーム ページへ。

本愛団（松原悟团长）で は、10月20日に開催される 名古屋まつりへの鼓笛隊出 演について、一般の参加者 も募集する旨を発表し、参 加呼びかけを進めている （左ポスター参照）。

こども食堂に参加して いる地域の子供たちなどを想 定しており、練習の上で誰 でも参加できる。詳しくは メールで問い合わせを。

名古屋まつりに 一般参加者も募集

少年会

10月のこよみ	入社祭	1日 午前10時
	よふき会例会	2日 午前10時
	鼓笛隊練習日	6日 午前10時
	秋季大祭	13日 午前10時
	青年会例会	13日 午前10時
	布教実修所	14日 午前10時
	むつみ会例会	16日 午前10時
	こども食堂MOGU	17日 午後5時
	女子青年例会	19日 午前10時
	名古屋まつり	(本愛鼓笛隊出演) 19日~20日
	婦人会例会	20日 午前10時
	本部秋季大祭	26日 午前8時
	第98回青年会総会	27日 午前10時

# 現代に生かす

## 「用木の道」

文・安藤吉人



標設定の仕方が大切だと思えます。

二つ目は、目の前の人を大切にすること。出会った人を喜ばせるために自分に何ができるかを真剣

に考える。

9月は全教会布教推進月間でした。また、現在大教会ではおたすけ推進団参各教会にて行っており、記念祭の喜びと御礼の思いを胸におちばへ帰ろう、そして未信仰の人をおちばへお連れして、にをいがけ・布教の歩みを進めようと呼びかけています。

布教を考える上で、私は重要なことが三つあると考えています。一つは、目標設定です。「ああ、路傍講演しなきゃ」「戸別訪問しなきゃ」と嫌々な心で行うのではなく、毎日の生活の中で「今日は新しい人と何人出会えるだろう」という設定をしてみる。自分の心も明るく勇んで歩めるような目



と、大教会では初席とおさづけの拝戴を願う人が多くなってきた印象があり

### 今と異なる八つのほこり

最後の一つは、自分自身が陽気な心で通ること。自らの心が暗く陰気な状態では、先述の二つも実現することはできないからです。

ところで、コロナ禍を経

ます。現在、初席を運ぶ際に暗唱する「別席の誓い」は、昭和24年以前は「初試験」と呼ばれ、十全の守護と八つのほこりの説き分けを暗唱する必要がありました。実はこの当時の八つのほこりの説き分けは、現在とはかなり異なります。たとえば、次のようなものでした。

「をしい、というは、わがもの棄たらぬように、始末するはよろしいなれど、返すもの返さず、出すべきもの出さぬが、『ほこり』であります」

「ほしい、というは、丹精してあたい、出して欲しいはよろしいなれど、ほこりを出さずして欲しいは、『ほこり』であります」

「にくい、というは、罪を憎みて、人を憎まぬがよろしいが、人を憎むが、『ほこり』であります」  
「かわいい、というは、わが

子、可愛いはよろしいなれど、人の子を可愛いがらずへだてるが、『ほこり』であります」

と続きます。いずれも「くはよろしいなれど」といわば「これはOKだけれど」という前提付きなので

ある先人は「ほこりの中に正味がある」と書いています。この「OK」の部分はその「正味」であり、つまりは「誠」なのだと思います。今では八つのほこりを「やっつてはいけないこと」など「NGリスト」のように捉えている人も多いますが、そもその教えは決してそうではなく、あるべき心の様子を説き分けてあったのです。

信仰者にとって、基本教理の角目は聞き飽きたと感じる人もいるかもしれませんが、歴史的な背景などを知らると、その奥深さを一層味わえるのではないかと思います。

## 公式サイトと YouTube をご活用ください!

天理教 本愛 Q 検索

こんなに便利



- 大教会の行事日程を確認
- 本愛誌最新号とバックナンバーをダウンロード
- その他お知らせ

楽しく学ぶ



- 祭典の様子をライブで視聴
- 大教会長の連載動画
- 神殿講話の限定配信

教理随想



言わん言えんの理を探る

諭達第四号の

一節に、「真にたすかる道があることを伝えよう」とあります。

困難な問題が生じると、それを改善するために医薬を用いたり、種々の方法を使って元の健全な状態に戻そうと努力をくり返します。

近年は様々な分野で研究が進み、制度や法律も次第に整備されてきているので、表面的には病気や問題が治まったかのようにみえる場合が増えてきました。しかしそれで本当に幸せな人生が送れるかというと、決してそうではありません。

私たちは日々、親神様のご守護によって生かされています。しかしそれは世間一般には、自然という言葉で片付けられ、ごく当たり前の事柄としてそれ以上深く考えることはありません。ところが病気になるたり

痛みを治めるための医薬や法律の整備はもちろんだ切ですが、それ以上に重要なのが、目には見えない部分で自然現象と人体機能を司っておられる、親神様の存在に心の焦点を合わせる

ことから始まります。

親神様の姿は肉眼で見ることではできませんが、心の眼を開けば、その働きはいくらでも感じ取ることができます。そして心眼を常に

見開いて、「ご守護を一つ、また一つと感じながら日々を送ることが、真にたすかる道を歩むことになります。今一つ、心眼で捉える必要があるのが「魂」です。魂の存在が分からなければ真にたすかる道にはつながりません。

魂とは、いわば心の「核」という存在に近いのではないのでしょうか。つまり人体の形状や体質が細胞の核によって左右されるように、心も「魂のいんねん」によって左右されるということ

す。だから、たとえプラス思考で物事を考えようと思っても、魂に力がないとそう

は思えないとか、喜ばなくてはと分かっていてもどうしても喜ばなくなる。すなわち自分の努力には限界があるということ。そこで

教祖は魂に徳を積む道を教えてくださいました。言い換えれば、「核」の部分に栄養と力を付ける方法です。■外向きに心を使う

体力や筋力がそうであるように、魂に力を付けるには、心の力を外に向かつて出し続ける努力が肝腎です。自分の都合や利益ばかりを優先していると、いつしか魂に力が無くなって、物事に感謝できない枯れた心になってしまいます。これが

争や災害には、おつとめをつとめて世の治まりと平和を祈る。これが外向きに心を使う実践の要です。

かくて人だすけの心と行いが身に付いて、心と魂に力が付けば、そこに不思議な親神様の働きが現れ、身上事情のご守護へとつながっていく。これが「真にたすかる道」、すなわち陽気ぐらしへの道であります。

目に見える世界だけではなく、目には見えない世界を心眼で感じるところに、真にたすかる道が開けていくことを肝に銘じましょう。そして世界各地で続く争いや自然災害で苦しむ人々のたすかりを願い、一刻も早い世界の治まりを祈っておつとめをつとめ、真にたすかる道を世界へ伝えていきましょう。

このみちハどふゆう事にをもうかな このよをさめるしんぢつのみち

【第117回】 心眼しんがんを開いて親神をつかみ 真にたすかる道を歩もう

魂に徳のない姿です。そうではなく、身近なところで困っている人に積極的な声をかけておたすけに励み、遠い地域や外国で起きる紛

7月のおさづけの理拝戴者  
出口愛結(本道橋)

8月の初席者

種田ひさ(本煥)

加藤楓佳(本美咲)

学 生 会

9月13日、学生会の委員長、副委員長が新たに任命された。

\* \* \*

委員長

瀧みずほ(本孝心)

副委員長

大池優希(本尾愛)

創立100周年記念祭

本穂分教会(桑子彰会長)

では、9月22日午前10時より、大教会長夫妻ほか多数の来賓を迎え、多数の参拝者が集う中、創立100周年記念祭が盛大に行われた。

お詫びと訂正

8月号の4頁掲載の「修養科第994期修了者」において、誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします。

(誤) 山下忠弘

↓ (正) 山下忠宏

広報部

本愛大教会おたすけ推進団参

～記念祭の喜びと御礼の思いを胸に～

9月1日～11月30日

大 教 会 日 誌

令和6年8月25日～令和6年9月24日

8月

26日 本部月次祭

11日 女子青年例会

27日 女子青年例会

12日 常任役員会議

31日 常任役員会議

13日 月次祭

祭主・大教会長 扨者・田中新一、吉田克義

1日 入社祭

指図方・安藤正二郎 賛者・中島裕信、野田正樹

祭主・大教会長 扨者・出口雅美、杉村善男

◇祭典講話—大教会長

指図方・都築隆道 賛者・安井篤、大橋善太郎

14日 布教実修所

秋季霊祭

15日 こかん様に続く会(参加者25名)

祭主・大教会長 扨者・青木健裕、吉田正信

17日 こども食堂MOGU

指図方・安藤正二郎 賛者・津田豊郎、佐藤幸一郎

20日 婦人会例会

2日 よふき会例会

むつみ会例会